

第2回 糸魚川市駅北まちづくり会議（推進会議） 次第

令和2年3月4日(水)13時30分
糸魚川市役所 201、202 会議室

1 開 会

2 あいさつ 米田 徹 市長
清水 義次 座長

3 議 題

(1) 駅北まちづくり戦略の中間報告について . . . 資料1

(2) 今後の予定について . . . 資料2

(3) その他

4 閉 会

糸魚川市駅北まちづくり会議（推進会議委員）

※要綱推薦団体順 敬称略

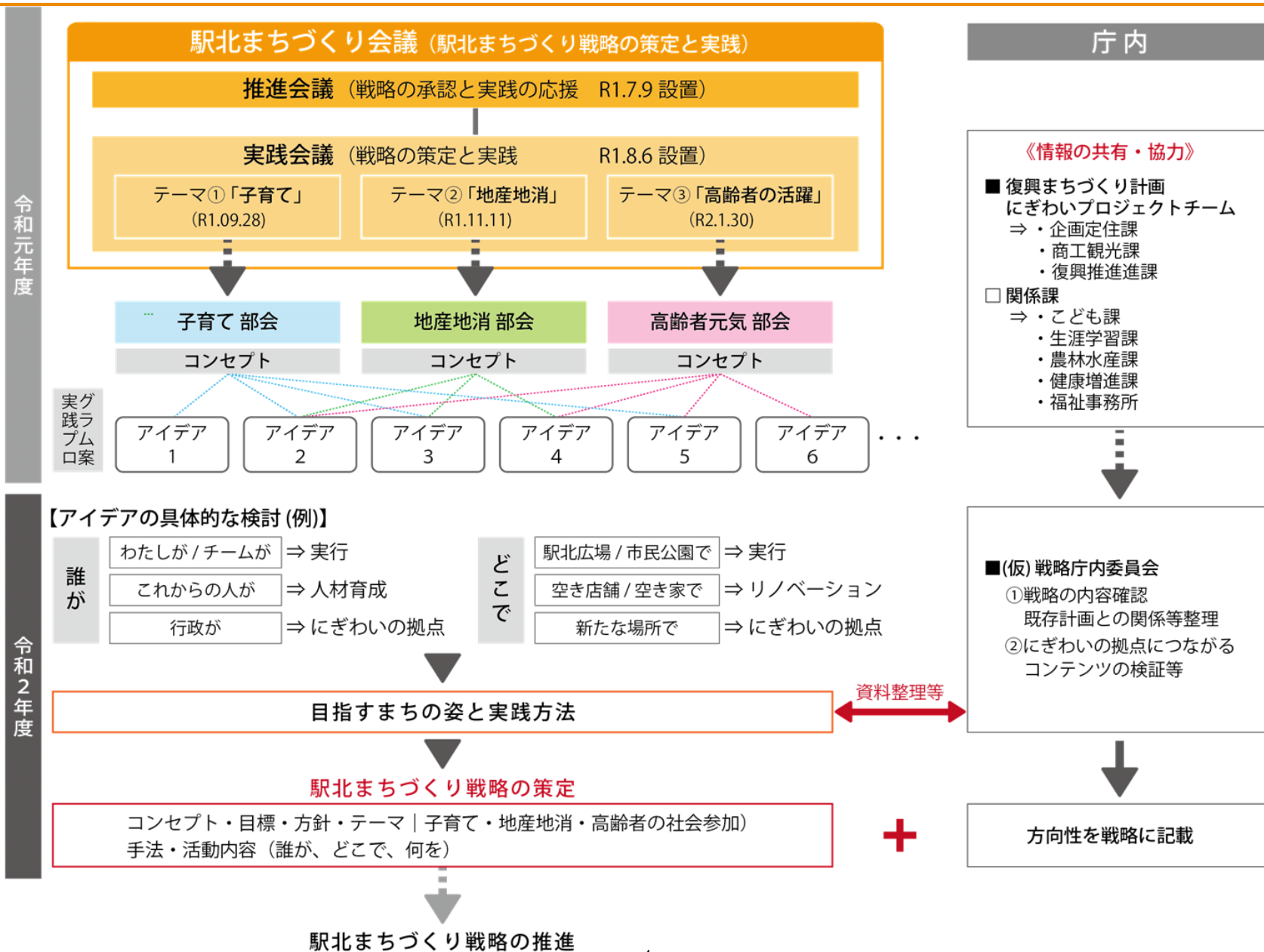
No.	団体名等	役職等	氏名	備考
1	糸魚川市	市長	米田 徹	
2	糸魚川商工会議所	会頭	猪又 史博	経済関係団体委員
3	糸魚川広域商店街	会長	小坂 功	経済関係団体委員
4	一般社団法人 糸魚川市観光協会	事務局長	佐々木 繁雄	経済関係団体委員
5	ひすい農業協同組合	組合長	吉原 勝廣	一次産業団体委員
6	ぬながわ森林組合	代表理事組合長	岩崎 秀治	一次産業団体委員
7	糸魚川信用組合	理事長	黒石 孝	金融機関団体委員
8	大町区	区長	齋藤 伸一	被災自治会委員
9	新潟県糸魚川地域振興局	局長	八木 威	県委員
10	株式会社リノベリング	代表取締役	清水 義次	外部アドバイザー
11	株式会社リノベリング	パートナー	西村 浩	外部アドバイザー

糸魚川市駅北まちづくり戦略 中間報告

令和2年3月

糸魚川市駅北まちづくり会議 実践会議

駅北まちづくり会議の流れ



駅北まちづくり会議 開催状況

月日	時間	会議名等	内容	講師	場所
7/9 (火)	13:30-15:00	第1回推進会議 キックオフ	会議趣旨について 実践会議の立ち上げについて	清水 義次 西村 浩	ヒスイ王国館
8/6 (火)	18:30-21:00	第1回実践会議 キックオフ	糸魚川市の現状と課題について 実践会議で議論していくテーマについて	西村 浩	市民会館 エントランス
9/28 (土)	9:30-12:00	第2回実践会議	女性が輝ける暮らしを考える ー子育て・しごと・教育ー	丑田 俊輔氏	市役所 市民ホール
11/11 (月)	18:30-21:00	第3回実践会議	糸魚川ならではの資源と活用を考える ー暮らしの地産地消ー	竹内 昌義氏 原 大祐氏	共場糸魚川コ モンズ
12/21 (土)	15:00-16:30	シンポジウム	第1回 リノベーションまちづくりシンポジウム	矢口 真紀氏	ヒノキヤ東隣 の空き店舗
1/15 (水)	19:00-21:00	シンポジウム	第2回 リノベーションまちづくりシンポジウム	遠矢 弘毅氏	ヒノキヤ東隣 の空き店舗
1/30 (木)	18:30-21:00	第4回実践会議	高齢者がいつまでも活躍できるまちを考える ー高齢者の健康と社会参画ー	逢坂 伸子氏	ヒスイ王国館
3/4 (水)	13:30-15:00	第2回推進会議	中間報告、意見交換	-	市役所会議室

駅北まちづくり会議 開催状況（実践会議 部会）



■子育て部会

月 日	時 間	場 所
10月15日（火）	18：30～20：00	市役所201・202会議室
12月10日（火）	13：30～15：00	市役所201会議室
1月14日（火）	18：30～20：30	市役所301会議室
2月13日（木）	18：30～20：30	市役所204会議室

■地産地消部会

月 日	時 間	場 所
11月26日（火）	18：30～20：00	糸魚川地区公民館
12月17日（火）	18：30～20：00	市民会館会議室
1月9日（木）	18：30～20：30	市役所202会議室
2月6日（木）	18：30～20：30	市役所203会議室

■高齢者元気部会

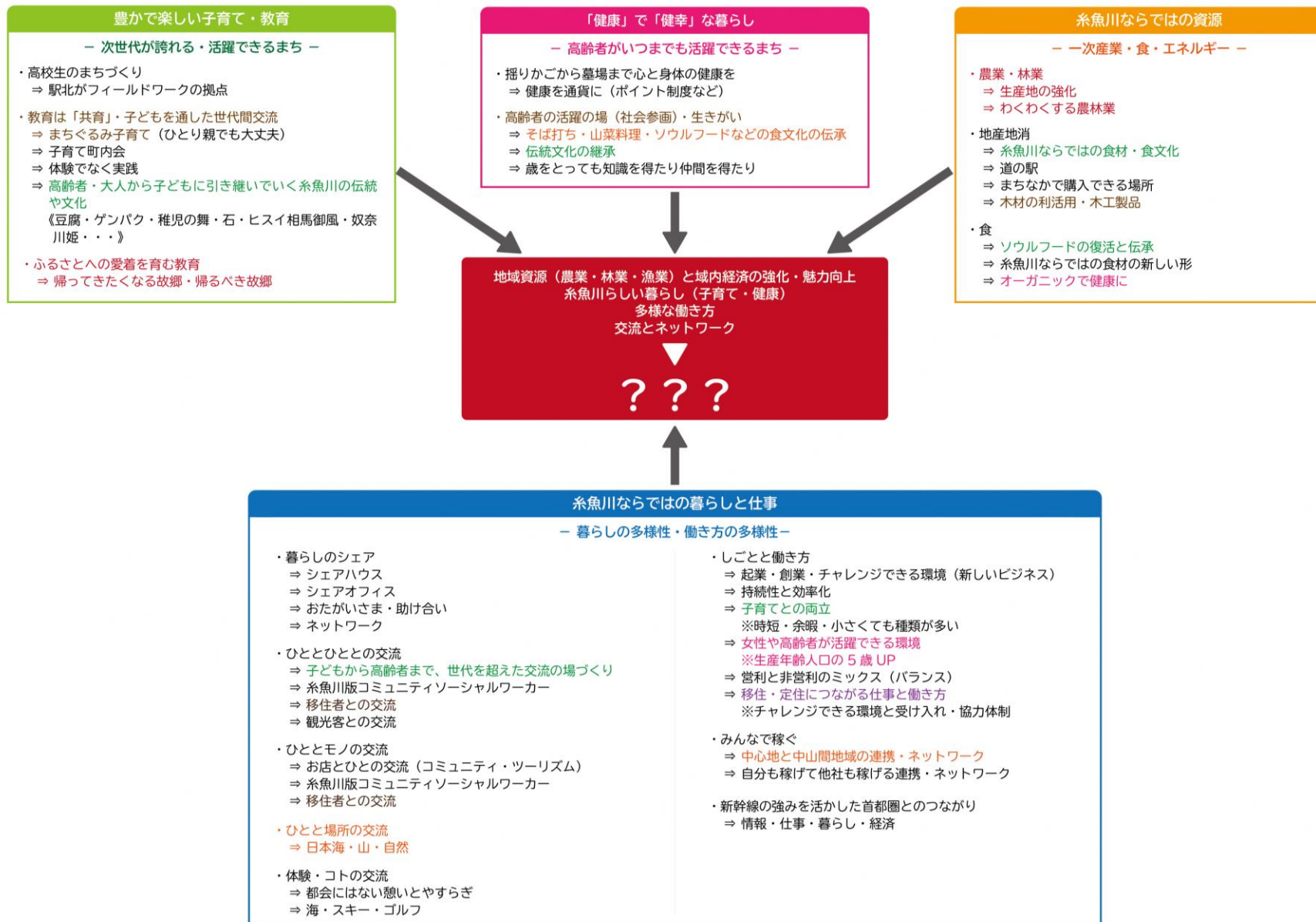
月 日	時 間	場 所
2月10日（月）	18：30～20：30	市役所204会議室

■全体部会

月 日	時 間	場 所
2月27日（木）	18：30～20：30	市役所201, 202会議室

駅北まちづくり会議 戦略検討テーマ

令和元年8月7日 第1回実践会議



子育て

▶ 実践会議（第2回）

まちぐるみで子どもを育む環境づくりを目指し、様々な世代が集い、交流する場を創出

《視点》

- ① 0才児から2才児をもつママ同志の交流によって不安や悩みを解消でき、子どもも安全・安心して遊ぶことができる場
- ② 核家族やひとり親でも安心して暮らせる、企業や地域の子育て応援策
- ③ 身近な人財（高齢者、高校生等）との協力関係（マッチング等）

▶ 部会（第1回－第4回）での協議概要

■ 現状と課題

- ・ 幼児（特に0歳児～2歳児）のママの育児不安解消の機会が少ない。
- ・ 身近な人がいてもどのように協力を求めてよいのかがわからない。
⇒ 昔のように地域で子どもを見守る環境や関係性が希薄
- ・ 昔は商店街や街なかで子どもをわくわくさせる遊び場であり、学びの場であった。
⇒ 時代の変化によって子どもが楽しいと思う「ものさし」も変化
- ・ 子育て世代が安心して行き来できる街なかの環境が求められている。
- ・ 進学や就職で転出してしまいうとなかなか地元に戻ってこない。
⇒ まちへの誇り、シビックプライドの醸成が必要

■ 取り組みの方針

《目指す姿》「地域で子どもを見守り育てられるまち」

《取り組みの方向性》

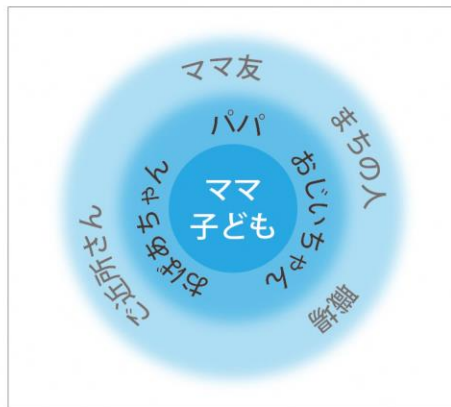
- ① ママの共感が広がる機会の創出
- ② 子どもが自ら考え、遊び、学ぶ環境（安全・安心）
- ③ 子どものまちへの誇りを醸成

《取り組みのポイント》

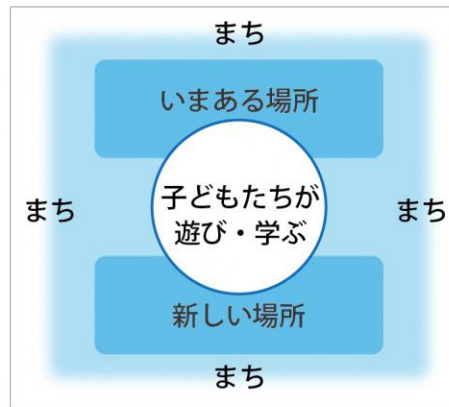
- ・ 子どもがワクワクしながら遊べて、ママがお話しできる場所づくり
- ・ 子どもに対する体験活動でなく、社会に役立つ実践的な活動ができる場づくり
- ・ まちや人々への愛着形成につながる大人の活動（大人の背中）

子育て

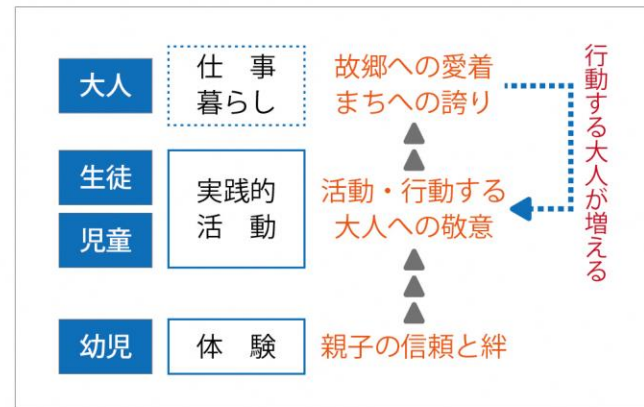
■ 取り組みの方向性イメージ



共感が広がる機会の創出
子育ての孤独感を解消



子どもが遊び・学ぶ環境
子どもがワクワクする場づくり



シビックプライド・パブリックマインドの醸成
次代のまちを担う子どもの自立心・自律心を育む

子どもの成長に応じた遊びと学びの場・活動の展開

具体的な実践プログラムの検討へ

※シビックプライド：「都市に対する市民の誇り」という概念で利用され、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする当事者意識に基づく自負心。
※パブリックマインド：みんなのために役に立つようなことをやろうとする気持ち。公共の精神。

子育て

■ 関連する既存の活動・取り組み

- ・子ども食堂（まがたまホール / 月1回）
- ・絵本の読み聞かせ【行政】
- ・子育て支援センター【行政】
- ・ふるさと学習親子塾 / 父親子育て講座 / 土曜自習室【行政】 など

■ 新たな活動・取り組みのアイデア

	①共感が広がる機会の創出	②子どもたちが遊べる環境	③まちへの愛着と誇りの醸成
活動・取り組みのアイデア	《こどもの遊び場カフェ》 ・幼児をもつママが楽しくお話しでき、子どもが楽しく遊べる場	《子ども ただの遊び場》 ・子どもが自由に遊べる場の提供 ・フリーマーケットの同時開催 ⇒おもちゃ、絵本の交換など ・子ども服の交換 (既存：民間実施中)	《子どもお手伝いポイント》 ・お手伝い（窓ふきなど）したらポイントをつける。コトとコトの交換制度
	《子育ての応援ができる家・店舗の登録》 ・はじめてのおつかい歓迎店。こども見守りの家・店（既存：行政） ・〇〇〇できます家・店		
	《店内で居場所（ai no BA）を提供》 ・協力してもらえるお店がパパママの居場所として場所を用意		
	《パパの料理教室》 ・パパがママに料理をふるまう。		
	《子育て情報の発信》 ・LINE オフィシャルアカウント / 子育てシェアアプリ ・パパママにここにメール（既存：行政）	《商売体験》 ・子どもが仕入れから販売までの流れを実践 ・商店街の店主を先生として年間で活動していく	《子ども農園》 ・駅北で、大人と子どもと一緒に野菜を生産
		《全国高校生（探求）My Project Award への参加》 ・駅北をフィールドに探求活動を推進	《地域の行事など子どもがコミュニティに関わる大切な場の継続》 ・地域のお祭り ・地域対抗〇〇（運動会、駅伝など。）【自治会、事業運営者】

地産地消

▶ 実践会議（第3回）

糸魚川にあるもの、つくられるものの価値を再定義（ローカライズ）し、糸魚川ならではの豊かな暮らしのあり方を伝えていく

《視点》

- ① 地元食材ならではの食文化・郷土料理の伝承
- ② 生産者、消費者双方のことを考えた地産地消のあり方
- ③ 地場産材(杉)を活用した事業の検討（地域プラットフォーム）

▶ 部会（第1回～第4回）での協議概要

■ 現状と課題

- ・土曜楽市は固定客が多い。出店者は楽しいそうに活動しており、損得だけでないものに価値を見出しているよう。
- ・駅北住民の野菜購買の需要（希望者）は少数。
⇒ 買い物は車で郊外へ。近隣スーパーが閉店）
- ・大火後に継続している「復興マルシェ」は30店舗ほどの中規模開催。
⇒ 他地域からの参加は少ない。
- ・生産者は内気な方が多く農家同士で生產品（米など）が重なるため、販売の場から足が遠くなりがち。
- ・事業目的が徐々に曖昧になり、継続が難しい事業・活動もある。
⇒ 検証せずにボランティアでの運営で、いつしか「楽しい」から「大変」に。
- ・日本人より外国人の方が駅北の商店街に魅力を感じているよう。
- ・最初に実施場所ありきで動くと活動の発想を制限する可能性がある。

■ 取り組みの方針

《目指す姿》 いまあるもので豊かに暮らし、地域で経済をまわす—
地産地消の良さ（品質・安心・地域内循環）を
市民が市民につたえていくまち

《取り組みの方向性》

- ① 市民を対象に小さな活動から始める。
⇒ 実行者と対象者の想いを共有し、育む活動
- ② 駅北の回遊を目的に、魅力的な活動を増やしていく
- ③ 活動目的、活動収支を意識し、検証と見直しによってより効果的な活動にしていく

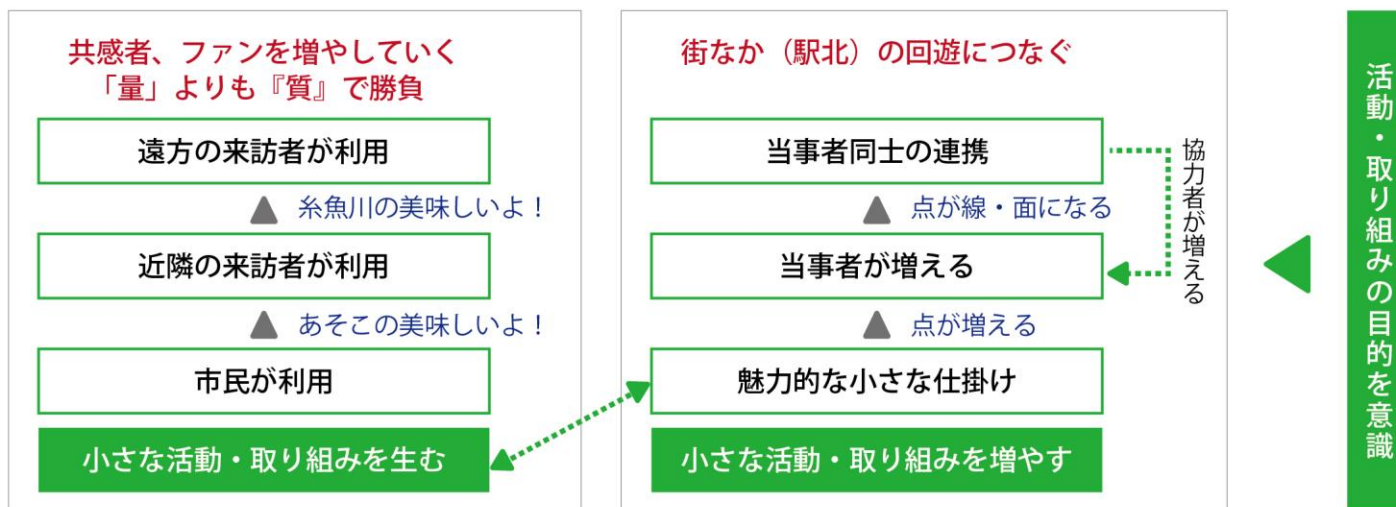
《取り組みのポイント》

- ・生産者と消費者をつなぐ
- ・季節が感じられる「旬」のもののマルシェ
- ・市内「6谷」の食文化の継承

地産地消

※途中経過であり、確定しているものではありません。

■ 活動や取り組みの波及イメージ



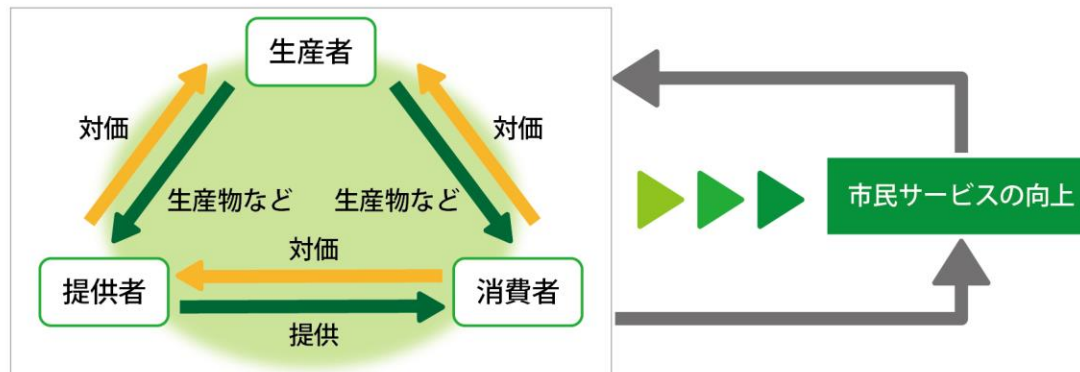
2つの考え方を意識して取り組むことで継続性を高める

■ 地域内経済の循環イメージ

糸魚川にあるもので
豊かに暮らす

地域で経済を循環させる

※「提供者」
材料を仕入れて加工、販売
する小売業、飲食店を想定



地産地消

■ 関連する既存の活動・取り組み

- ・ マジ野菜レシピ
⇒ 高校生発案のレシピ（新潟県）
- ・ ギブミーベジタブル等のイベント
⇒ 地産地消 PR 活動
（農林水産業振興協議会 地産地消部会）
- ・ 地産地消推進店舗認定（食の魅力委員会）

■ 新たな活動・取り組みのアイデア

《糸魚川食材を使った料理の提供》

- ・ 「地産地消おむすび」販売企画。 具材：メギチヨビなど
- ・ 糸魚川ベーグル（サンドウィッチ）&カフェ
⇒ 【駅北地内の個店】

《地産地消の料理教室》

- ・ 糸魚川食材を使った料理教室
⇒ 【つなぐキッチンプロジェクトチーム】

《「塩」を活用した仕掛け》

- ・ 糸魚川の歴史＋塩を活用した仕掛け
- ・ 調味料として料理の幅を広げる

《食の嵐 糸魚川バージョン》

- ・ 糸魚川の食材を集めて、料理人にお店の看板になりえる特徴ある料理を作ってもらう。料理の鉄人

《マジレシピのお店提供》

- ・ 地元食材をつかって、マジレシピの料理を提供

《小さなマルシェ（朝市）の開催》

- ・ 小さな朝市を開催していく。

《街なかミニ農園》

- ・ コンテナ栽培 ※水があれば公園でも可能
- ・ 駅北エリアでは鳥獣被害が少ない可能性
- ・ 作り方など農家さんの実技指導があると楽しみがアップ

《農業女子持ち寄りマルシェ》

- ・ 農業をしている女子が、各々の生産物を持ちよって、食材セット（レシピ付き）を販売
⇒ 【農業女子会など】

《生産者と料理人が交流できる場づくり》

- ・ 一同に集まる、気軽な商談会（調理機器の商談も可能）

《食を含めた糸魚川ブランドを考える場づくり》

- ・ 糸魚川ブランドを考える場の創出
⇒ 【地産地消を推進する団体等・行政等】

《食材マップの標準化》

- ・ デジタルアプリで、いつ・どこで食材が買えるか、レシピ掲載
⇒ 【地産地消を推進する団体等・行政等】

高齢者元気

▶ 実践会議（第4回）

住民が住み慣れたまちで暮らし続けるために、心身ともに健康で元気でい続けるための仕掛けや仕組み（活動的な生活）づくり

《視点》

- ①ひとりではなく、地域ぐるみでの活動が基本
- ②地域のつながり、多世代交流（高齢者と子ども 等）の機会をつくることによる生き甲斐とよりどころづくり

▶ 部会（第1回）での協議概要

■ 現状と課題

- ・糸魚川の高齢者は農業などの一次産業に従事している人が多い。
⇒ 毎日労働しているため、リハビリする時期がなく、かつ農閑期に筋力がダウンするため、一度身体を壊すと一気に要介護者になるケースが多いと考えられる。
- ・きっかけがないと家から出ない高齢者、気軽に集まれる・体操できる場所の必要性
- ・家にいる人たちでも手芸などの趣味を持っていたり、デイサービスを利用している。
- ・医療費削減のための健康施策につなげるには行政だけでは難しい。
- ・市の協議会等では、実際の現場等の話が多くなり、広い視点の話がなかなかできない状況に感じる。

■ 取り組みの考え方

《目指す姿》「いつまでもピンピン にこりと暮らせるまち」

- ・住み慣れたまちで暮らし続けていける
⇒ 最後まで自宅に居れる。死を明るく捉えるなど
- ・健康で、身の回りのことができる
⇒ ピンピン、にこり。まだやれる、またやれるという前向き思考
⇒ 健康でいられないと「損」（充実感、お金の損得など）

《取り組みの方向性》

- ①いつまでも健康で、身の回りのことが自分ででき、楽しく暮らすために必要なこと
- ③活動等を始め、続けられるための目的意識や欲求を生み出すこと
⇒ 個人が具体的な目標を持てる環境（目標と成果の見える化）

高齢者元気

■ 取り組みのアイデアを検討するにあたってのポイント

- ・健康を維持しようと持続的に行動するためには、本人の意識づけが大切
- ・行動を促すためには、個人の行動の見える化や損得へのアプローチが有効
- ・体操や運動に限らず、手芸や歌（コーラスやカラオケ）などの趣味で交流や生きがいを見つけると、そこが地域の支え合いの場となる。
- ・医療費削減のための健康施策につなげるためには行政だけでなく市民を巻き込んで取り組む必要がある。
⇒ 民間と行政での情報共有は、新たな健康施策につながる場となる。
- ・駅北地区は、範囲（小規模）、高齢化率などをとっても、市内全域に波及しうるモデル地区となる。

《 展開のイメージ 》

民間の小さな活動
公民が連携する活動が生まれ、
まちの魅力や向上し、
人が集い、住む人が増えることで、
さらにまちの価値が高まる

民間主体の
持続的な発展へ

まちの魅力が向上

おもしろい人が
集まりはじめる

R02

小さな事業が
生まれる

R03

まちを訪れる人
まちに関わる人が
増える

R04

新しい事業や
産業が生まれる

R05

おもしろい
まちになる

R06

まちに住む人が
増える

エリアの価値が
上がる

.....

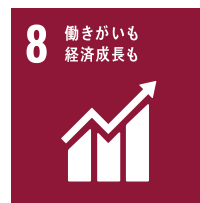
まちの魅力・活気／人の流れ

参考資料

委員会の方向性



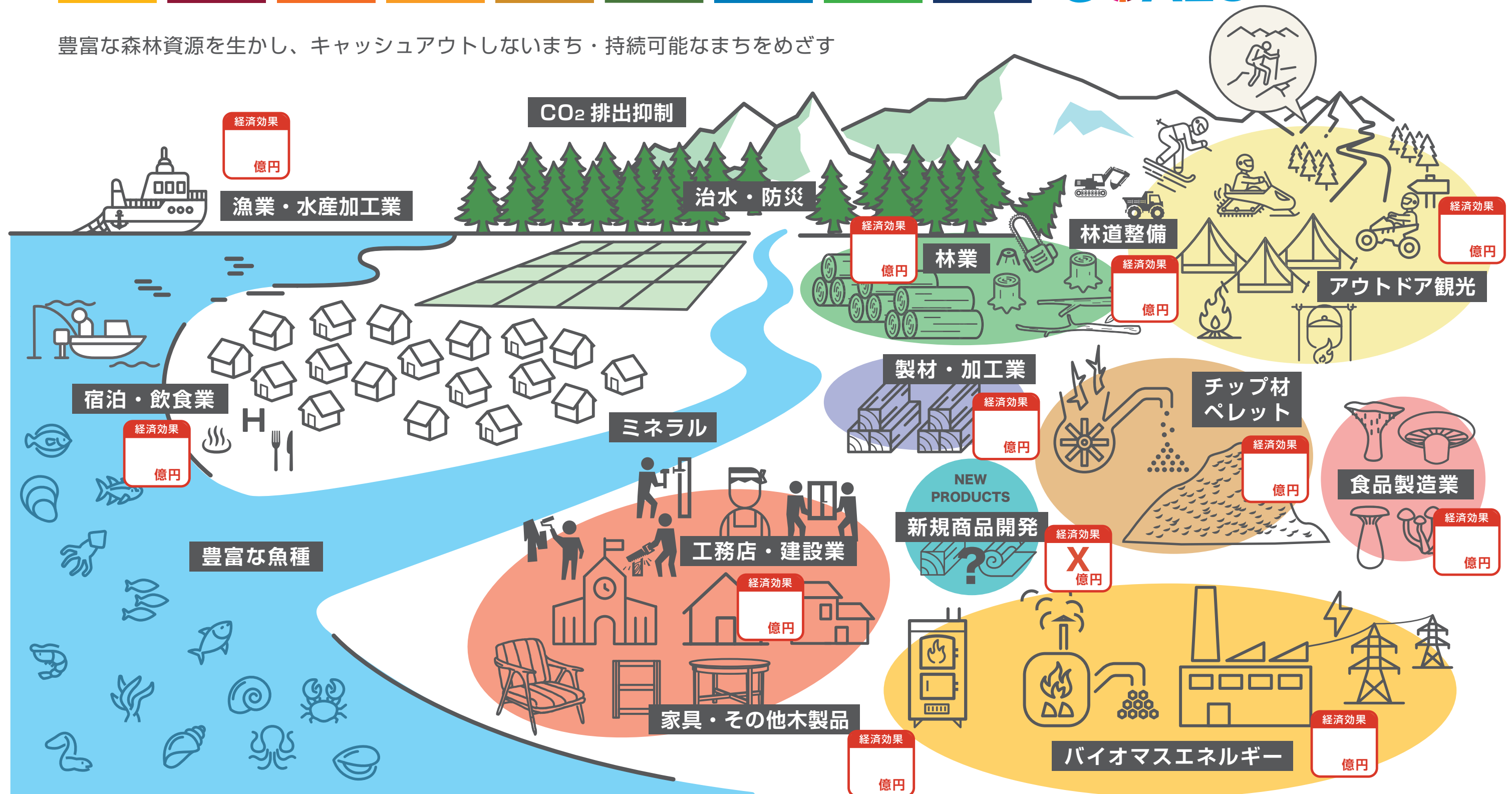
森林資源から見た 糸魚川版循環型経済マップ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



豊富な森林資源を生かし、キャッシュアウトしないまち・持続可能なまちをめざす



月日	時間		内容	場所
4月 23日(木) 調整中	18:30-21:00 (予定)	第5回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略案の検討 ・具体案の検討（にぎわいの拠点を含む） 「いつから」「誰が」「どこで」の具体化	駅北広場 (予定)
5月 28日(木) 調整中	18:30-21:00 (予定)	第6回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略案の検討 ・基本項目の整理 ⇒ 各部会案の連携と関係性 ⇒ 短期・中期・長期の目標設定 ⇒ 実践に向けた課題の整理	駅北広場 (予定)
6月 25日(木) 調整中	18:30-21:00 (予定)	第7回実践会議 (予定)	駅北まちづくり戦略（素案）の まとめ・確認 ・まちづくり戦略（素案）の確認 ・周知に向けたアプローチの方法 ・意見交換	駅北広場 (予定)
7月 29日(水) 調整中	13:30-15:00 (予定)	第3回推進会議 (予定)	駅北まちづくり戦略の確認 意見交換	駅北広場 (予定)

「駅北まちづくり戦略」構成案

section 1	糸魚川市駅北まちづくり戦略について 1. 駅北まちづくり戦略とは ⇒ 策定の目的 2. 戦略の位置づけ ⇒ 関連計画との関係 ※戦略＝日々の暮らしの中で「取り組む」「参加する」ための手引き 3. 対象エリア ※駅北エリアを図示
section 2	駅北エリアの現状について 1. 駅北エリアの昔といま ・ 公共公益施設、店舗、住宅等の立地状況等、まちの移り変わり（変遷） ・ 抱えている課題
section 3	リノベーションまちづくりとは 1. 糸魚川ならではの資源を活かす 2. 小さくはじめて大きく育てる
section 4	駅北エリアがめざす暮らしの風景 1. 「行きたい」「働きたい」「暮らしたい」まちを目指して 2. まちぐるみで子どもを見守り、育てよう 4. いつまでも、ぴんぴん にっこり暮らそう 3. 糸魚川にあるもので豊かに暮らそう ―暮らしの地産地消―
section 5	駅北エリアの未来をつくるアクション 1. アクションプログラム（アイデア） ※プログラムと実行体制（部会の相互連携・実践する団体・人など） 2. 街づくりの展開イメージ ※短期・中期・長期目標
section 6	「行きたい」「働きたい」「暮らしたい」の実現に向けて 1. 公民の連携 ※民間の活動促進と行政の役割 2. 実現に向けて